

ひだまり 5月号

与那原町字与那原1775番地
 浜田保育園内 ☎ 098-944-0664
 ✉ hidamarikids@gmail.com

さわやかな風が吹く、うりずんの季節となりました。浜田保育園の園庭にも鯉のぼりが元気に泳いでいます。ひだまりのお部屋を移動して、一か月がたちましたが、利用なさっているお母さんからは、「前より広くなりましたね」「明るくなって気持ちがいいですね」等、快適に過ごしていただいているようで、安心しております。更に、快適な環境を心がけていくつもりでおりますので、色々とアドバイスをいただくとありがたく思います。

5月からは保育園の新入園児も落ち着き、ひだまりもいつもの活動がスタートできると思いますので、一日一日を有意義に過ごしていけようスタッフ一同張り切っております。

お近くに家庭保育をされている方がいらっしゃいましたら、是非声をかけていただいて、ひだまりへ案内していただき、子育ての輪が広がっていくことを願っています。

4月のひだまりの風景

▼お気に入りの車遊び

▼大見武3班から毎日おんぶで来所

▼かしわもちの完成

卵パックで鯉のぼり製作

▲こいのぼり掲揚

積木いくつ積めるかな？

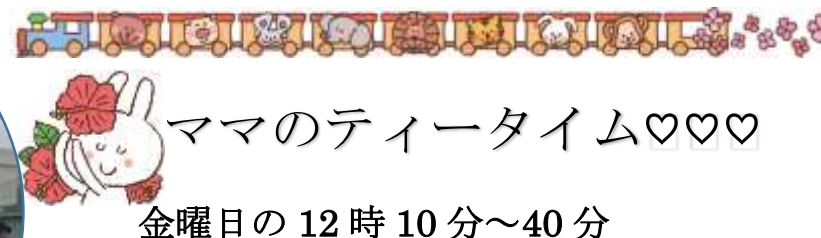


リトミック
 毎月第2水曜日は、あかぎ児童館で10時半よりリトミックを行います。講師に仲里英子先生をお迎えして、あかぎ児童館のバンビクラブ、家庭的保育ママのきららさん、オレンジハウスとの交流を兼ねています。

直接あかぎ児童館へ参加されてもOKですし、ひだまりにいらして担当と一緒にむかうこともOKです。

梅シロップを作ろう!(^^)!
 夏バテ予防に、梅シロップを作りませんか?
5月18日(水) 10時30分~
 *材料代100円を徴収いたします。

大見武へ自然散策へ♪
5月17日(火) 10時15分出發
 大見武3班へ行きます。歩いていくには距離が遠いので、たけひと君の家まで車を乗り合わせて行き、荷物を置いてエビやオタマジャクシ取りをしたり、ヤギさんを見にいたり大見武の自然を満喫しましょう!!
 12時に、たけひと君の家のお庭でランチタイム♪その後解散となります。帰りは1時ごろになります。



ママのティータイム♡♡♡
金曜日の12時10分~40分
 昼食後、お子様をお部屋の中で担当がお預かりします。お子様が部屋で遊んでいる間、ママは、ぬれ縁でお子様抜きのおんびり時間をお過ごしください。

5月の行事予定		
1	日	
2	月	子どもの日を祝う会
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	子どもの日
6	金	ママのティータイム (12時10分~12時40分)
7	土	
8	日	母の日
9	月	発育測定
10	火	サンクスデー
11	水	リトミック(あかぎ児童館で10時半~)
12	木	英会話教室(各年齢のクラスで)
13	金	ママのティータイム (12時10分~12時40分)
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	おさんぽ(大見武へエビ&おたまじゃくしとり&ヤギさんを見に) 10時15分出發
18	水	梅シロップを作ろう
19	木	英会話教室(各年齢のクラスで)
20	金	ママのティータイム (12時10分~12時40分)
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	作って飾ろう!!(てるてる坊主)
25	水	体操教室(対象児:2歳以上)
26	木	英会話教室(各年齢のクラスで)
27	金	お誕生会
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	父の日のプレゼント作り

【お願い】
 ☆来所したら、利用受付簿へのご記入をお願いいたします。
 ☆お子さまから目を離さず、安全管理にはご注意願います。
 ☆貴重品の管理は、ご自身で管理下さいますようお願いいたします。
 ☆保育園の門は、子ども達の安全のため閉めてくださいますようお願いいたします。

子どもが夢中になる絵本の読み聞かせ方

景山聖子 著 より

★膝の上で生まれる信頼感・幸福感

赤ちゃんは、だいたい生後7ヶ月くらいから絵本の認識を始めます。言葉も「絵の意味ももちろんわかりませんが、お腹の中でずっと聞いていた母親の声、話しかけてくれた父親や周囲の大人たちの声は、赤ちゃんにとって馴染み深いもの。絵本を見ながら、ゆったり楽しそうに語り掛けてくれる声は、心地よく響くことでしょう。

首が座って、お座りができるようになって、膝の上での読み聞かせ。ここには驚くべき効果が生まれます。読み聞かせをするとき、親子は自然と見つめ合ったり、体を寄せあったりします。絵本を見ている子どもの愛らしい表情、面白い反応を見て、親は愛おしさを感じます。

そうして、互いに幸せな気持ちを味わいながら触れ合うと、親と子ども双方の脳内で神経伝達物質の一つ、オキシトシンが分泌されます。オキシトシンは、脳や心の疲れを癒し、人間に対する信頼感や幸福感をもたらす物質とされています。

つまり、読み聞かせをすればするほど、親と子どもの両方に幸福感が生まれ、その積み重ねが生涯にわたる親子の強い絆や、信頼感、親密さに繋がっていくのです。

こうした信頼関係が結ばれていると、子どもにとって親は「安全地帯」のような存在になり、その幸福感から生まれた絆によって「人は信じられるものだ」という考えを身につけます。その結果、子どもは、他の人々とも親密な人間関係を自然と作れるようになり、新しい集団の中に入るときも、臆することなく溶け込めるといった効果が生まれます。今、社会で求められている、コミュニケーション能力を育むきっかけになるのです。

膝の上の読み聞かせは、親子の間に「かけがえのない絆」を作ります。教育のためというより、わが子が「ただ愛おしい」という思いがとても重要です。この思いがあれば、両親、祖父母、誰もが子どもに「親密な人間関係を築く力」を与えてあげられるのです。読み聞かせは、子どもの記憶に、人のぬくもりや優しさ、笑顔という宝物を残します。そしていつまでも、幸せな記憶となって、その子の人生に力を与え続けることでしょう。▼ひだまりでの読み聞かせ風景



ちよこつと絵本紹介

おかあさんだいすきだよ

作・絵 みやにし たつや

私がボランティアで中学2年生の男の子たち数人に、エイサーの指導をしていた時の話です。その子たちは、それぞれの事情で、学校に行けない？行かない？子達でした。でも、地域の行事でエイサーを披露するのでやってみないかと誘ったところ、みんな快諾してくれて、約2週間近くの小学校の運動場での練習を、放課後5時から6時30分くらいまでの時間帯で行っていました。練習していると、一人の男の子が6時前になるとソワソワしだし、友達も振り切り急いで家に帰っていく姿が不思議で、その子にそのわけを聞いてみました。

その子の家族は、お父さん、お母さん、妹の4人家族で、今のお父さんはお母さんの再婚相手になるそうです。お父さんは、その子の素行が悪いのを嫌がっていました。門限を6時に決めて、その時間にその子が家に帰らないと、お母さんに罵声を浴びせ、暴力をふるうので、その子はお母さんがそういう目にあうことが嫌で、友達も振り切り、門限を守ろうと必死で頑張っていたのです。

間もなく、私はその子のお母さんに会う機会を設けていただき、その子がお母さんを守ろうと友達も振り切って、必死で門限を守って帰って行ったことを、お母さんに伝えました。お母さんの口から出た言葉は「あの子が私の事を好きだなんて信じられない。だって、いつも悪いことばかりして私を苦しめているのですよ」でした。「あなたを苦しめたくてやっているのではなく、その行動の奥には、あなたに僕の事を見てほしい、もっと僕に心をむけてほしいのではないのでしょうか？」とお母さんに問いかけると、「そういえば、私と二人でいるときは、本心を見せてくれます」と、その子の本来の姿を思い出してくれました。

私は、今でもあの子が必死で帰って行く姿を思い出すと涙が出てきます。子どもはお母さんが大好きなのです。条件付けなんてせずお母さん丸ごとを愛してくれています。ありがたいですね。

育児に疲れたとき、是非この絵本を手にとってみてください。ホット一息つけるとおもいますよ♡♡